

会 か ら

○幼稚園でも保育所

でも、先生方の日々の苦勞は大きいこと
です。教育ですから先生の心勞の多いのは
当り前ですが、保育者において体勞も亦容
易ならぬものです。保育は何時から何時ま
でときめでも、實際は子供の来た時から帰
えつて仕舞うまでですし、しかも、その間
ひつきりなしです。小学校のように授業の
各時限の間に、休みがあるという訳でなく
いわば、のべつ幕なしですし、子供が一人
でも残つていれば相手をしていなくてはな
りませんから、日々の勤務時間を一定する
ということもできません。一般に先生には
欠勤位、よくないことはないのですが、そ
れも、事務者の場合と違つて、すぐ子供の
生活に影響(本質的な)を及ぼすことで
から、少し位の間だの故障でも休めませ
ん。それが積つて、疲勞も大きく健康に無
理の起ることも屢々です。御当人はそれを
構つていられないかもしれませんが、実は
子供の充分な保育のために、大きな問題に

なります。

○本号にアメリカ通信を寄せていられる
ミネソタ大学大学院在学中の津守真君は、
その私信において、その研究と生活の楽し
さを書き送つて、友人達を喜ばせていま
す。殊に編者としては、アメリカ大学生活
の經驗を想い出し、羨望に老心を動かさ
れること頻りです。特に津守君が、ミネソ
タの教養ある家庭に客となつて、アメリカ
生活のいいところ、にふんだんに触れる機会
に恵まれていられることは、誠にアメリカ留学
の莫の利益を満喫していられるものといえ
ます。更に、その各々の家庭(津守君は同
信のゆえに、幾つもの良家庭から次々に迎
えられていて幸福の上もないことです)
では、その子供達の親しみを得て、教室
や社会では得られない、アメリカの家庭教
育を、楽しさのうちに研究していられるの
です。津守君は、大学のセミナリーなど編
者の著書や本誌を抄訳して紹介して、日本
にこういうエライ(?)保育研究者がいる
ことを吹聴して呉れているそうですし、ま

た大学の連中や子供達にキンドergartenを
見せて自慢して呉れることは、——そ
うして彼等を大いに感心(?!?)させている
というたよりは、スコブる欣快の至りで
す。

幼児の教育 第五卷 第六號

定価 金 五拾四

昭和二十七年六月二十日發行

東京都中野区千光前町一〇

編集者 倉 橋 惣 三

東京都文京区大塚町三十五

お茶の水女子大学附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式會社

東京都千代田区神田神保町二ノ四

發賣所 株式會社 フレーベル館

振替東京一九六四〇番

○本誌御購讀について注文申込その他はすべて發賣
所フレイベル館宛に願います。